

お寺からのおたよりを作成しました！！

この度、お寺からのお知らせ『圓久寺だより』を作りました。今後も季刊として続けていく所存です。圓久寺では、皆様が気持ちよく手を合わせる道場として頑張っていきます。宜しく願いいたします。

お施餓鬼法要が盛大に行われました！！

お盆は地方により風習や、祭り方に違いがありますが、ご先祖さまが我が家にお帰りになり、くつろがれる期間です。

8月5日、晴天の中たくさんの方々のお集まりを頂き、圓久寺本堂において、施餓鬼会(せがきえ)が執り行われました。今回初めてお寺のお堂の中にお参りし、ご本尊に太鼓のリズムに合わせて大きな声でお題目を唱えたという方も多くおられたようです。

圓久寺では、「ご縁を大切にしておく寺」として多くの方々の御供養をさせて頂いております。今回初めてのお盆(新盆)をお迎えするということで、お集まりくださった皆様。お暑い中で汗を拭きながら、故人を偲び、ご一緒にお題目をお唱えした、この修行の功德・ありがたさは、必ずや故人に届いております。ご苦労様でございました。合掌



多くの方々のお参りを頂きました。
ありがとうございました。

まもなく、秋のお彼岸をお迎えします。

まだまだ暑い日々が続いておりますが、昔から「暑さ・寒さも彼岸まで」と申します。日本では、古来より一年の中で一番過ごしやすい時期、すなわち春と秋の一週間を使い、日々の生活を反省し、もう一度心を磨く修行期間としてお彼岸を大事にしてきました。

圓久寺ではお彼岸中、本堂においてお題目をお唱えするご修行を執り行います。どうぞ皆様お誘い合わせの上、お参りください。

尚、お彼岸のお塔婆をお申し込みになられる方は、9月15日迄に、お寺までご連絡ください。宜しく願い致します。

秋のお彼岸のご案内

平成18年9月20日(水)
～9月22日(土)

午前8時30分より

接心修行【唱題行】

平成18年9月23日(土)

午後2時より

秋季彼岸会法要

お寺からのお話し

合掌

夏の盛りも過ぎたように感じられる今日この頃です。お蔭様で圓久寺のお盆法要も無事に勤め終わることができました。お堂がお参りの方で埋め尽くされました。仏様方もさぞ喜ばれたことでしょう。出席者から法要中に、清らかな風がそよめいていたとお聞きしました。きっと皆様の清浄な心が届いた証だと思いました。私も読経中はとても心が落ち着き、雑念も起きずに勤めることができました。これもお参りなされた皆様方のご精進のお陰様だと思っております。

今夏、高校野球の甲子園大会は例年に無く盛り上がりました。私も感動した一人です。泥まみれになって、グラウンドを駆け回る彼らの姿から学んだことがありました。それは「精一杯生きる」ということです。彼らは厳しい練習に明け暮れ、日々の生活のなかでは我慢することばかりであったと思います。楽しいことよりも、苦しいことの方が多かったのではないのでしょうか。だからこそ、ありったけの思いを試合の中で表現できるのだと思います。

自分は毎日、反省させられます。

精一杯いきているのだろうか
腹の底から泣いたり、
笑ったりしているだろうか

吉田俊栄 再拝